

訃報をお聞きした際、大変驚きました。

今でも、若かりし頃の大西さんを昨日のこつのように思い出します。最初に大西さんをお見かけしたのは、若手の夏の学校でした。当時私はM1で、色々なことが初めてでした。ある先輩がひととき積極的で、よく挙手をされており、強い印象を持ったのですが、その先輩が大西さんでした。斜め前にまっすぐにピシッと挙手された姿は今も目に焼き付いています。見習わねばという心とともに、少し怖そうだなとも当時は思いました。その後、大西さんが北大に着任された際は、私はD3で核研におり、少しすれ違いにはなりましたが、その頃には大西さんは全く怖くはなく、面白く、とても優秀な方と尊敬していました。1学年下の奈良さんが大西さんの着任をととても喜んでいたことも思い出します。私は当時、学振特別研究員D2でしたが、大西さんには「半年早く博士を取ったら、学振の給料上がるし、もう一度、PDにも応募できるよ」といった大阪商人張りのお勧めをされました。笑って丁重にご遠慮したことも昨日のこつのように思い出します。先日、私の研究室で、その頃の大西さんと私とのふざけて撮ったツーショット写真を見つけ、大変懐かしく思いました。

私はその後、別分野を主とした研究に進みましたので、大西さんとの直接の関わりはなくなりましたが、今回の早すぎるお別れは本当に残念です。物理に限らず、大西さんの物事を前へ推し進める力と他者に対するフェアな心は、少し遠めにいた私にもよくわかります。

人生というものゝは突然に幕を閉じること、どの分野にいても知はどこまでも続くこと、色々と思うことが心に浮かんできます。大西さんとお会いできたご縁に深く感謝するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

布施 泉（北海道大学）